

## 足利市長と通二丁目自治会との中橋架け替えに関する意見交換会の結果について

令和3年7月6日（火）、通二丁目自治会の主催により、「中橋の架け替えに関する市長との意見交換会」が開催されました。通二丁目自治会から、意見交換会の取りまとめ依頼がありましたので、その結果についてお知らせします。

市長に対する意見、要望や質問については、当日回答したものを主に記載していますので、ご承知おきください。なお、質問については、順不同となっています。

### (市長のあいさつ)

- ・日頃より、市政全般に対し、ご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。有意義な会議にしていきたいと思っておりますので、率直なご意見をお聞かせください。
- ・近年、異常気象に伴う自然災害が激甚化・頻発化しています。本市においても、一昨年10月の令和元年東日本台風で大規模な浸水被害が発生しました。治水対策の推進は、各自治体にとって喫緊の課題であり、渡良瀬川流域においても、本年3月、「渡良瀬川流域治水プロジェクト」が策定され、今後、国、県、市町など、あらゆる関係者が協働して、流域全体でハード・ソフト両面から治水対策が進められる予定です。
- ・このような中、中橋周辺の堤防は、計画の高さから大きく切れ込んでおり水害の危険性が極めて高い重要な水防箇所指定されています。誰もが安全に安心して暮らせるまちを築いていくためには、中橋周辺の堤防かさ上げ及びそれに伴う中橋の架け替えは、決して欠かすことのできない重要な事業です。
- ・これまで、平成31年3月に、国・県・市の三者で開催した説明会以降、国は、現況測量、地質調査、橋梁の予備設計を実施し、県及び市は、JR東日本高崎支社との協議を行ってきました。その結果、中橋架橋の具体的な高さ、それに伴う左岸側連続立体の詳細構造、側道及び斜路付き階段の形状などの諸計画を策定してきました。
- ・更に、昨年10月13日、14日に地元説明会を開催するとともに、12月2日には通二丁目自治会からの要望により現場で具体的な計画案を説明した後、12月8日から2週間、都市計画の構想の縦覧を行い、本年1月19日には公聴会を開催してきました。

- 皆様の中には、中橋の架け替えと左岸側の跨線橋の事業を分け、まずは、中橋架け替えを進めるべきとの意見があることは承知していますが、今後、県が都市計画事業を進めていくためには、道路交通ネットワークに整合した体系的な計画を策定し、事業区間において、一体的に都市計画の変更を行い、それに基づき、国から事業認可を受けなければなりません。このことから、今後、事業区間全体で所定の手続きを行い、治水対策として、早急に中橋周辺の堤防かさ上げ及びそれに伴う中橋の架け替えに、着手する必要があるものと考えています。
- 今後、中橋の架け替えを契機として、土地区画整理事業の実施による定住促進、空き店舗の更なる利活用、その他、商業や観光の振興など、中心市街地のグランドデザインについて、市の関係部署、商工会議所、観光協会、地元関係団体、地元議員などを中心にしっかりと議論を進め、いいまちをつくっていきたいと考えています。
- そのなかで、皆様からいただいている側道や斜路付き階段の位置、エレベーターの設置、踏切の存続などの個々の要望については、引き続き、皆様の意見を伺いながら、皆様と同じ立場に立ち、合理性、必要性などを十分に加味したうえで、国、県やJR東日本と協議し、いい結果を出していきたいと考えていますので、ご理解をいただきたい。

### **(意見交換会)**

**○堤防かさ上げに伴う中橋の架け替えと跨線橋は別事業とならないのか、市長の考えを聞きたい。**

**【市長】**

- 私が県議として活動していた際、中橋について、いろいろな情報を聞いていました。また、市長に就任して以降、市の担当などから経過等も聞きました。これらをもとに、足利市の立場として、どこに軸足を置くべきかを考えるため、国や県などの関係機関と、中橋の架け替えについて話をさせていただきました。
- 中橋の架け替えと跨線橋は分けられないのかというご意見ですが、都市計画事業として中橋の架け替えと跨線橋は一体的に進めていかなければならないということを国、県にも確認をしたところでした。そのため、中橋の架け替えと跨線橋を分けるとなった場合には、中橋の架け替えができなくなることとなります。中橋の架け替えと跨線橋は一体で考えるしかありません。

○中橋の架け替えは、市中心部の洪水の問題であり、足利全体の問題であることから、治水対策として最優先で行ってほしい。いろいろな資料を見ると、中橋の架け替えと跨線橋はセットであることはやむを得ないと思うので、早急に進めてほしい。

【市長】

- ・誰もが安全に安心して暮らせるまちを築いていくためには、中橋周辺の堤防かさ上げ及びそれに伴う中橋の架け替えは、決して欠かすことのできない重要な事業です。中橋架け替えについて多くの意見をいただいているのは承知していますが、市民の尊い生命や貴重な財産を守るために、1日も早く事業に着手しなければならないと思っています。

○跨線橋により、まち周辺がガード下の雰囲気になってしまう。人通りが少なくなるのではという問題もあるが、市長の考えを聞きたい。

○踏切閉鎖や高架の問題などあるが、中心市街地が空洞化しないために、周辺の開発も含めて市で考えてほしい。

【市長】

- ・中心市街地をいかに再生させていくか、このことについて、全力で取り組まなければなりません。例えば、中橋ハイツの居住促進策の策定、市立美術館の有効活用、空き店舗の活用など、まちなかに人を回遊させ、歩くまちにしていく仕掛けづくりができると思います。決して、中橋を架け替え、道路ができたなら終わりということではなく、中心市街地を面として捉え、橋の架け替えに要する時間を有効に使い、皆様とともにまちづくりについて、いろいろな仕掛けをしっかりと考えていきたい。
- ・更に、中橋周辺については、土地区画整理事業に伴う面的整備などともしっかりと連携していくほか、商工会議所も一緒に、まちなか再生に向けて取り組んでいくことを相互に確認しています。

○高架橋ができると現在の中橋通りの踏切（宝来社街道踏切）が閉鎖され、まちが分断されてしまう。斜路付き階段では、車椅子やベビーカーは使えないので何とかしてほしい。

○中橋の通りは、学生や会社の方も通行しているので、その人たちにも使いやすいもので考えてほしい。

○歩道を整備するなど、足利市内をもっと歩いてほしいと考えているが、現在の踏切が閉鎖されてしまうと、とても不便になると思う。

【市長】

- ・地元の皆様には、踏切の存続やエレベーターの設置など、様々なご要望があると思います。中橋の架け替えは国、県の事業でありますので、今後、いただいたご要望に対し、国、県と十分に協議しながら、市として結果を出すために最大限の努力をしていきます。
- ・踏切やエレベーターの問題については、県と協議を重ねていきたいと考えています。また、JR東日本高崎支社へ直接私が出向き、具体的な協議をしてきます。更に、工事期間の短縮などといったことについては、事業の詳細な計画を作成する中で、適宜、国、県ともに状況報告をしていきたいと思えます。

○治水に反対しているわけではないが、今の中橋をスライドさせる方法は、治水対策を遅らせてしまうのではないか。

○現在の計画では、工事期間が約10年と長いようだが、どのようなことで、現在の計画を採用しようと判断したのか聞きたい。

【市長】

- ・現在の3連アーチの存続は、多くの方々のご要望に基づき、費用負担も含め、国、県の温かいご支援の賜物であることをご理解いただきたいと思います。現在の3連アーチが残ってよかったという声も、私のところに多く届いています。
- ・現在、全体の工事期間を概ね10年間と想定していますが、今後の詳細設計で具体的な工事期間を検討していくこととなりますので、ご理解をいただければと思います。

○中橋の架け替えの間の治水対策はどうなっていますか。

【市長】

- ・ハザードマップの活用はもちろん、国、県とダムとの放流などの情報共有を図るとともに、地元建設業協力会と連携するなど、万全な体制で臨んでいきます。

す。

**【都市建設部長】**

- ・中橋付近の水防対策については、県は通行止めなどの対応、市は足利市建設業協力会に依頼し土のうを積むことになっています。現在、この水防活動のマニュアルがありますが、前回の経験を活かし、マニュアルの全面的な改訂を行い、活動開始の水位を下げ、なるべく早く活動できるようにしました。通行止めなど、地域の皆様にご迷惑をかけてしまうことになってしまいますが、空振りをおそれずに対応していきたいと思っています。

**○一番の問題は、人口問題だと思う。人口減少が心配される中で、10年間も通行が止まるようなことは、非常に厳しいものがあると思っている。人口問題と治水の両方を考えてほしい。**

**【市長】**

- ・人口の問題ですが、人口はまちを支えるものであると思っています。ただ単に、まちなかでイベントをするだけというのではなく、中心市街地の将来のあり方などを含め、地に足のついたまちづくりの構想をつくっていきたいと思っています。決して橋を架け替えて終わりでということではなく、しっかりとまちなかの再生ということを念頭に置いた取り組みを進めていきたいと考えています。

**○これまでの説明会や意見交換会では、地元と一緒に考えていこうということが感じられなかった。計画案ありきで説明していて、地元の意見を聞いてもらえてない感じがする。**

**【市長】**

- ・本日、様々なご意見、ご要望をいただいたが、国、県との協議が必要なものもあるため、すべてにお答えすることができません。今後、国、県との協議のなかで、方向性が見えた段階で情報のやりとりを頻繁に行う必要があると考えています。また、できること、できないことを皆様にお伝えする必要性を感じたところです。
- ・公共事業を行う場合には、まずは行政側で計画案を作り、それを住民にお示しをし、それをベースに議論を進めていくことが一般的であることをご理解いただければと思います。

- ・今後とも、地元の皆様の立場に立って、また、皆様とともにまちづくりを進めていくことを胸に刻んで取り組んでいきたいと思っています。

#### (その他の意見)

- 中橋の治水対策であれば、堤防のかさ上げのみでいいのでは。道路は現状のままとし、行き止まりでいいのではないか。
- 中橋架け替えにあたり、なぜ今の中橋を残さなければならないのか。足利市民が誇れるようなシンボリックなデザインの橋にしてほしい。
- 中橋の架け替えと跨線橋を切り離せないのであれば、現在の3連アーチを移設し、歩行者、自転車だけの橋でいいのではないか。
- 現在の計画では、通2丁目交差点付近の歩道が狭い。両側に立派な歩道をつくる計画にしてもらえないだろうか。
- 市長から、中橋架け替えと跨線橋は一体であるという話を聞いて、橋ができるという前提で話をすると、工事期間をできるだけ短くしてほしい。
- 跨線橋になることにより、生活に影響を受ける方への補償や補助金、固定資産税の減免なども今後必要ではないかと思う。
- 反対する側もただ総論で反対というのではなく、具体的にどうしてほしいのか意見を挙げないといけないと思う。